

栃木県公衆衛生大会で会員が表彰される

■同日開催の栃木県公衆衛生学会においても、会員が研究発表を行う

第46回栃木県公衆衛生大会（大会長：福田富一知事）及び第44回栃木県公衆衛生学会（学会長：高島三喜栃木県医師会長）が、平成18年9月8日（金）、宇都宮市内の栃木県総合文化センターで開催されました。

大会の冒頭で、保健衛生事業功労者に対する知事表彰と大会長表彰が行われ、当会からは、知事表彰（薬事衛生優良施設部門）でグラクソ・スミスクライン(株)今市工場、大会長表彰（薬事部門）で戸室圭三理事（日本理化学薬品(株)足利工場）がそれぞれ受賞されました。

また、昨年行われた公衆衛生学会において「注射剤の検査について」を発表された中外製薬(株)宇都宮工場の行方透様が、今回の学会で学会長表彰を受賞されました。

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。



グラクソ・スミスクライン(株)今市工場
高橋 聡 様



日本理化学薬品(株)
戸室 圭三 様



中外製薬(株)
行方 透 様

また、同日午後から開催された公衆衛生学会の第5会場における薬事衛生関係の分科会では、宇賀神貞夫薬務課長が座長となり、当会の4会員から次のとおり発表が行われました。

発表者におかれましては、口演時間が8分以内、追加討論が2分以内という時間制限があり大変だったと思いますが、いずれの演題についても活発な質疑応答が行われ、参加者にとって有意義な内容になったものと思います。誠にありがとうございました。

「医薬品製造受託会社における品質管理体制（変更管理）」

MPテクノファーマ(株)足利工場 坂倉 浩夫 様



「医用電気機器のEMC規格適合について」

東芝メディカルシステムズ(株) 中田 和成 様



「グラクソ・スミスクライン(株)今市工場の新変更管理システム」

グラクソ・スミスクライン(株)今市工場 中嶋 瑞枝 様



「貼付剤の概要とバリデーションの一例」

久光製薬(株)宇都宮工場 中原 敏博 様



県外優良施設現地視察研修会 旅行記

平成18年度の標記研修会は、さる10月26日（木）に秋田県能代市のキョーリン製菓㈱で開催されました。

今回は、例年と異なり、日帰り、さらに強行スケジュール（早い時刻での羽田空港集合）ということもあり、企画の段階では参加人数が少なくなることを心配していたのですが、昨年を上回る28名の参加者があり、まずはほっとした次第です。また、数日前までは低気圧通過に伴う大雨や強風などの天気が続きましたが、前日までにほぼ回復し、何も心配することなく、当日を迎えることができました。

当日は羽田空港に8時20分集合のため、東北新幹線の始発列車に乗り込みましたが、ほとんどの参加者がこの列車か次の列車に乗車されたのではないのでしょうか。早起きが苦手な方には厳しかったかもしれません。

羽田発の飛行機（全日空873便）は約15分遅れて離陸し、秋田空港には10時30分頃到着しました。気温は16℃で思ったほど寒くなく、空港付近の平野部はそろそろ紅葉シーズンが始まる時期でした。

秋田県は、来年、国体が開催されるとのことで空港周辺は道路整備のため工事中のところがたくさんありましたが、それほどの混雑もなく、私たちを乗せた秋田中央交通のバスは順調に秋田自動車道に入りました。この高速道路は片面1車線の対面通行で、ガイドさんの話では、併行して走る国道7号線とさほど所要時間は変わらず、一時、週刊誌などで無駄な路線ではないかと指摘されたこともあるとのことですが、遠くに男鹿半島や世界遺産の白神山地の山なみをのぞむ快適な道路で、空港から能代市方面へ行くには便利な道路だと思いました。また、バスの中では、ガイドさんから秋田名物の「ハタハタ」について（魚偏に雷と書く。一時漁獲高が激減したが、最近はとれるようになったとのこと。）とか、東北3大祭りの一つである「竿灯まつり」のこと（竿灯の形は豊作を祈って稲穂をイメージしたものとのこと）などといった豆知識を得ました。

バスは空港から約1時間半で能代市に到着しました。能代は、アメリカのプロバスケットボールリーグで活躍中の田臥勇太選手の出身校である能代工業高校があることで有名です。市内の道路には、いたるところにバスケットボールのゴールの形をした街灯があり、まさにバスケットボールの街といえるでしょう。

昼食は、市内中心部にある「金勇」という老舗料亭でいただきました。食事をとった1階中広間の大きな天井板や、食事のあとに案内していただいた2階大広間の何枚もの天井板は、いずれも天然の秋田杉を贅沢に使ったものとのことで、建物全体としては平成10年に国の登録有形文化財となったそうです。おいしい食事のあとに、建物内をゆっくり見学させていただきました。



13時、予定通り、キョーリン製薬(株)能代工場に到着しました。同工場は平成7年に開設され、さらに本年3月まで稼動していた栃木県内の野木工場が移転するという形で能代工場内に新しい製剤棟が建設されました。今回はこの新製剤棟を見学させていただきました。

はじめに会社と工場の概要について説明を受け、そのあと、3班にわかれて工場内を見学しました。見学した感想は、一言でいえば、清潔感あふれる工場という感じで、このようなところで製造される医薬品ならば、医療関係者は安心して患者さんへ勧めることができるのではないかと思います。見学のあとの質疑応答の時間では専門的な内容のやりとりがあり、私には十分に理解できなかったものの、医薬品の製造にあたっては想像以上に厳しい品質管理が行われており、そういった仕事に従事されていらっしゃる担当の方のご努力の一端を垣間見た気がしました。

また、10万平方メートルを超える広い敷地の中も手入れが行き届き、環境にも十分に配慮されている工場であると思いました。さらに、開放感のある工場の窓から見える周辺の風景がすばらしく、ほんのひとときではありましたが白神山地や米代川の美しい輝きに癒されました。

見学にあたっては、丸林工場長、荒井製造部長のご両名及び各部門の責任者の方々にたいへんお世話になりました。紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。また、工場には、今春、栃木から転勤された方も多いたと思いますが、(おそらく)栃木より厳しい冬の寒さや雪に負けないで、今後とも活躍されることををお祈りしております。

工場見学終了後、バスは再び秋田自動車道を走り、秋田空港に戻りました。帰りの全日空878便の出発時間までに時間の余裕があったので、空港内の売店で秋田のお土産(稲庭うどんや秋田もろこしなど)を購入しました。空港内のロビーは観光客やビジネス客で混雑していましたが、予定どおり秋田を出発し羽田空港に19時少し前に無事到着し、解散となりました。

途中、特段のトラブルもなく、予定どおりのスケジュールで進行できたのも参加者の皆様方のご協力のおかげです。ありがとうございました。最後に、今回の視察研修でお世話になった日本旅行宇都宮支店の仲田さんと現地秋田中央交通バスの秋元運転手・本川ガイドさんにお礼申し上げます。旅行記を終了いたします。 (事務局 大内)



「薬と健康の週間」のイベント開催される

～当会のポスターを作製、展示

さる10月28日（土）、29日（日）の2日間にわたり、宇都宮市内の「東武宇都宮百貨店」において、「薬と健康の週間」の関連行事である「お薬展示・相談会」が、県、栃木県薬剤師会などの主催で開催されました。当会も同行事に協賛し、ポスターの展示や来場者への風船配布などで協力いたしました。

ポスターは今回初めて作成したもので、来場者へ本会の目的や、県内の医薬品や医療機器生産高に関する内容を啓発するものとなっております。



また、県が行うアンケートの協力者に対して記念品をさしあげましたが、この記念品の提供については、会員である花王(株)栃木工場と久光製薬(株)宇都宮工場の両会員にご協力をいただきました。

「平成18年度栃木県GMP研修会」開催のお知らせ

薬事法のGMP等への対応については、会員各位におかれましては、その対応や運用において発生した様々な問題点などを解決すべく、日々ご尽力されているかと存じます。

このような状況の中で、本年度も県との共催で、次のとおり「平成18年度栃木県GMP研修会」を開催することといたしました。

たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

1 日時 平成18年12月1日（金）15時開始（17時終了予定）

2 場所 宇都宮市上大曾492-1 ホテル東日本宇都宮

3 講演内容

(1) 「医薬品等のGMP推進に向けて」

講師：三重県メディカルバレー推進サポーター 長谷川 正樹 氏

※長谷川氏は、本年3月まで三重県医薬品研究センターのセンター長を務められ、現在は、三重県メディカルバレー推進サポーターとしてご活躍中です。そのほか、粉体工学会やI S P Eなどの団体においても要職を務められています。当日は、「医薬品等のGMP推進に向けて」という演題で、約1時間にわたってご講演いただく予定です。

(2) 「栃木県におけるGMP/QMS適合性調査について」

講師：栃木県保健福祉部薬務課 永井 伴幸 主査

4 参加費 無料（ただし、当会会員以外の方は1,000円）

5 お問い合わせ

栃木県薬事工業会事務局（栃木県庁薬務課内）

電話 028-650-6163

「県内理工系学生の工場見学・懇談会」開催される

本年度事業の一つである標記工場見学・懇談会は、さる8月28日（月）、グラクソ・スミスクライン(株)今市工場のご協力を得て開催されました。

当日は、国際医療福祉大学薬学部の学生と関係者11名及び事務局職員も5名参加させていただきました。12時にJR宇都宮駅東口に集合し、ここから貸切バスで高速道路（日光宇都宮道路）を経て、約1時間で日光市（旧：今市市）の工場へ到着しました。今回は、できるだけ時間を有効に使うという趣旨から、バスの中で、お弁当による昼食をすませそのあとに薬事工業会の紹介やGMPに関する概要などを勉強し、工場到着後にはすぐに開会できるようにという進行要領としました。

会社の生産本部長でもある当会の佐藤会長のあいさつのあと、工場側から概要と見学上の注意事項に関する説明を受けた後、2班に分かれて工場内の製造ラインや品質管理室の状況などを案内していただきました。

約1時間の見学のあと、宇賀神薬務課長の司会進行で懇談会が開催され、はじめに、参加者から、「製品の包装工程などを具体的に見ることができ医薬品製造工場のイメージがよくわかった」「品質管理が徹底されておりGMPを実際に体験することができた」などといった感想が寄せられました。

次に、参加者と工場側との意見交換では、医薬品の剤型や包装形態に関することなどについて質疑応答が行われました。

終了後に実施したアンケートでは、多くの参加者から「内容に満足した」「時間もちょうどよかった」という結果が得られました。また、「医薬品製造工場以外に医療機器や化粧品などの工場も見学したい」といった意見も寄せられました。

最後に、開催にあたりまして、グラクソ・スミスクライン(株)今市工場の皆様方には多大なる御協力を賜りました。紙上をお借りてお礼申し上げます。



今回は県南地域（佐野市、栃木市）の隠れた（今はかなり有名ですが）名物を紹介しましょう。

「いも」といえば「さつまいも」を連想される方が多いと思いますが、県内では、北海道と同様、「いも」といえば「じゃがいも」という地域があります。

この「じゃがいも」を材料にした佐野の名物「いもフライ」を紹介しましょう。佐野ラーメンと同様に、庶民的な名物の「いもフライ」が全県のいや全国的にブレイクする日も間近ではないでしょうか？

さて、一般的な「いもフライ」は、蒸したジャガイモを一口サイズにカットしたものを3～4個串にさし小麦粉・パン粉をまぶして油で揚げたもので、これに比較的さらっとしたソースがかかっているというものです。そして、1本50円～70円程度と非常に安く、元々は、小・中学校の近くの文具・雑貨店などで子供のおやつとして販売されていたものと思われる。どこの店でも同じ味かというところでもなく、特に、ソースにこだわりを持つ店がありいろいろな味が楽しめます。そして、揚げたてが一番おいしいと思いますが、さめても、衣にソースがしっかりとしみこんで、ご飯のおかずにしても結構いけると思います。

おすすめの店は、佐野市堀米町（城北小学校東）にある「おおつか商店」ですが、そのほかにもたくさんのお店がありますから、地元観光協会の「いもフライマップ」（インターネットで見られます。）を参考に、「ラーメン」と「いもフライ」の食べ歩きをされてみるのもいいかと思えます。



次に、栃木の名物である「じゃがいも入り焼きそば」ですが、これは名称にきちんと「じゃがいも」とつけられ、「いも入り焼きそば」とは言わないようです。店によっては「ポテト入り焼きそば」というところもあります。

文字通り、焼きそばの具にじゃがいもが入ったもので、値段も250～400円程度と安くてボリューム満点です。佐野の「いもフライ」と同様に、以前から地元の名物だったと思われます。今から10年以上前の話ですが、JR両毛線の（小山駅と栃木駅の間にある）思川という駅の前（ここは小山市内ですが）で、バイクのおじさんが販売していた焼きそばも「じゃがいも入り焼きそば」で非常においしく、遠いところから車でわざわざ買いに行ったという記憶があります。

現在は、地元観光協会が「じゃがいも入り栃木やきそば会」が設立され、店舗のマップをインターネットでも見ることができるので、「蔵の街栃木」の散策の際にぜひ利用して欲しいと思います。なお、当方で調査した店舗の数が少ないため、残念ですが、特におすすめの店は紹介できません。栃木近辺の会員の方の情報を事務局までお寄せいただければ幸いです。



編集後記

秋の訪れと共に、寒さが一段と増してきました。これからの時期の私の楽しみの1つは、夜空を見上げることです。澄んだ冬の空は、月と星がとても綺麗に見えます。冬の空には沢山の1等星が輝くので、とても賑やかになります。代表する星座はオリオン座ですね。有名な三ツ星が目につくので、すぐに見つけられると思います。皆様も疲れた時には、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか？

発行日 平成18年11月24日
発行所 栃木県薬事工業会
宇都宮市戸祭元町1-25
栃木県保健福祉会館内
TEL (028)650-6163
E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp